

今後の取り組みの検討結果

株式会社モバイルサービス 総務部

1、課題（調査結果により判明した課題）

【課題1】従業員の平均年齢が40代前半であり、介護経験をもつ者または、介護の可能性が少しはある比率は高いものの、実際の介護の知識や制度/サービスに対して仕組みが分からないため、介護に関して漠然とした不安を抱いているという状況である。

【課題2】介護となっても仕事と両立したいという意見が多いものの、将来実際に介護をするとなると相談する相手や会社の制度などがわからず、一人で抱え込んでしまう可能性が高く、社内で相談できる仕組みが必要である。

【課題3】実際に介護をする状況となった時に、どの位の期間掛かるか、予想するのが難しく、長期の離職が必要な場合は介護と仕事の両立が難しい可能性がある。今後検討が必要。

2、検討状況

・育児休業・介護休業等を定めた就業規則について実際に知られていないこと、社内の制度や公的介護保険制度、地域包括支援センターの存在や内容を知らない状況であるため、告知や発信が必要である。

3、今後の取り組み目標

【目標1】実際の介護等が発生した際に有益な情報を提供できるように介護相談員は最新の介護相談・制度に関する情報の把握に努める事。

（計画期間等：情報の発信は平成27年度から年に1回程度実施予定）

【目標2】従業員の介護に関するセミナーの情報の提供を行い、希望者を募り参加。

（計画期間等：平成27年度から年に1回程度実施予定）

【目標3】相談窓口を告知して相談希望者に個人相談を実施。

（計画期間等：平成27年度から相談希望者に対して随時実施）

【目標4】熟練した人材の確保のため、働き方等の社内制度を検討する。

（計画期間等：平成27年度…社内制度（休業規定検討、在宅勤務、短時間勤務等）の検討

平成28年度…社内制度（休業規定検討、短時間勤務等）の実施検討予定）

以上